

販売上の注意事項

販売上の注意事項

- Express5800 シリーズ用に販売されている他社製オプション製品(CPU/HDD/メモリ等)は動作保証の範囲外となるため、Express5800 純正品のオプションを使用する事。他社製オプション製品の実装を客先から求められた場合は、そのために発生したサーバの故障、データ損失や火災等による損害に関して、当社は責任を負いかねる旨、十分に説明の事。
- 同一ディスクコントローラ(SCSI/アレイ)配下に 7200rpm の HDD と 10000rpm の HDD を混在して搭載することはできない。
- 同一ディスクコントローラ(SCSI/アレイ)配下に Ultra2 SCSI 対応の HDD と Ultra SCSI(Wide)対応の HDD を混在して搭載することはできない。
- Express5800 でのバックアップ運用の注意
Express5800 では、ディスクアレイのサポートにより、データの保全性の向上が図られているが、ディスクアレイ運用中であっても、ディスクアレイそのものの障害および SW システムダウン障害が発生した場合にはデータが失われる可能性がある。
万が一に備え、極力オプションのバックアップ装置 (AIT,DLT など) を構成に含めるように客先提案の事。
また、バックアップ運用時に、定期的なクリーニング運用も客先提案の事。

■ UPS 運用 S/W の注意：

UPS を使用して電源制御を行う場合、シャットダウン開始から電源切断までの猶予時間を正しく設定する必要がある。サーバがシャットダウンするのに必要な時間は、システム構成により異なるため、対象システムでシャットダウン時間の測定を行い、必要な時間を確認の事。猶予時間は、実際に測定した時間の 2 倍を推奨。

該当 S/W に応じて、下記の様に設定する事。

- ・ ESMPRO/AutomaticRunningController

[オプション] - [電源切断猶予時間]

* 規定値：3 分

- ・ ESMPRO/UPSController

[設定] - [シャットダウンパラメータの設定] - [シャットダウンリブートの設定] - [UPS デレイ-時間]

* 規定値：1 分

- ・ PowerChute Plus

[Configuration] - [UPS Shutodown Parameters] - [UPS Turn Off Delay]

* 規定値：20 秒(変更必須)

■ UPS のスケジュール機能を使用する場合、Remote Wake Up 機能は使用できない。

- 一度電源コンセントを外すと、Remote Wake Up 機能のコンフィグレーション情報が消去されるので、注意する事。